

3 コメ

(1) 国際的なコメ需給の概要（詳細は右表を参照）

<米国農務省（USDA）の見通し> 2020/21 年度

生産量 前年度比 ↑ 前月比 ↑

・米国、韓国等で上方修正され、前月から上方修正された。史上最高の見込み。

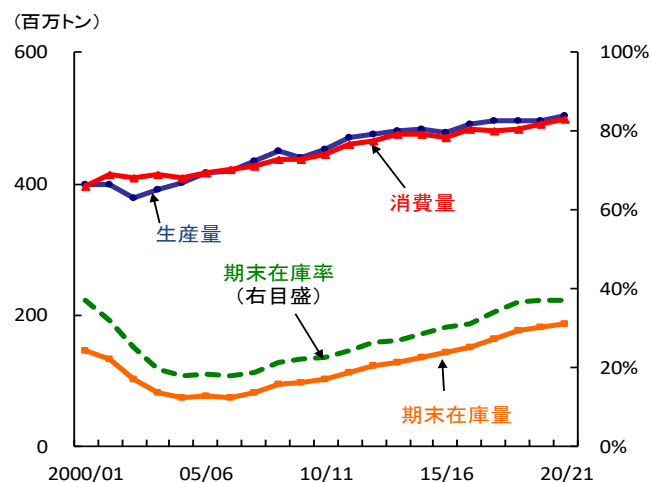
消費量 前年度比 ↑ 前月比 ↑

・米国、フィリピン等で上方修正され、前月から上方修正された。史上最高の見込み。

輸出货量 前年度比 ↑ 前月比 ↓

・米国で下方修正され、前月からわずかに下方修正された。

期末在庫量 前年度比 ↑ 前月比 ↑



資料：USDA「PS&D」（2020.7.10）をもとに農林水産省にて作成

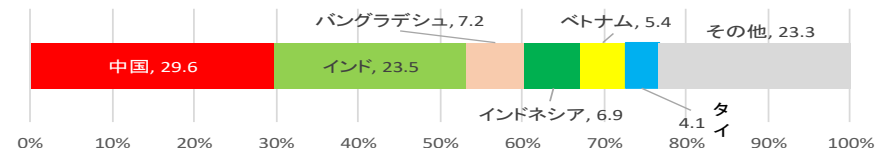
◎世界のコメ需給

（単位：百万精米トン）

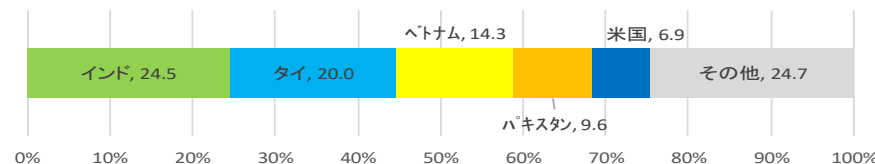
年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	496.6	495.2	502.6	0.5	1.5
消 費 量	483.9	490.4	498.5	0.5	1.7
輸 出 量	43.7	41.7	44.9	▲ 0.0	7.7
輸 入 量	43.8	40.2	42.0	0.0	4.7
期末在庫量	176.8	181.7	185.8	0.5	2.3
期末在庫率	36.5%	37.0%	37.3%	0.1	0.2

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」（10 July 2020）

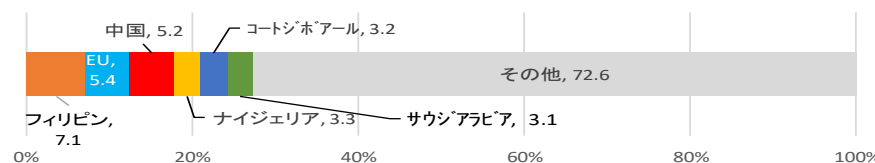
○ 2020/21 年度 世界のコメの生産量（502.6 百万トン）（単位：%）



○ 2020/21 年度 世界のコメの輸出货量（44.9 百万トン）



○ 2020/21 年度 世界のコメの輸入量（42.0 百万トン）



(2) 国別のコメの需給動向

< 米国 >

【生産動向】米国農務省（USDA）によれば、6月の作付面積調査を反映し、作付面積は、中・短粒種が下方修正されたが、長粒種が上方修正されたため、2020/21年度の生産量は、上方修正され、対前年度19.6%増の7.0百万トンの見込み。このうち、中・短粒種の実量は全体の約3割を占める。現在、出穂期を迎え、「Crop Progress」(2020.7.20)によれば、出穂進捗率は32%(前年度同期29%、過去5年平均39%)と前年度より早いペースとなっている。

【貿易情報・その他】USDAによれば、輸量は、長粒種の価格が他の輸出国と比べて高いため、前月予測からわずかに下方修正され、対前年度3.7%増の3.1百万トンの見込み。輸入量は、タイ産、インド産を初めとするアジア産の香り米の輸入拡大により、前月予測からわずかに上方修正され、前年度並の1.1百万トンの見込み。

< 中国 >

【生育・生産動向】USDAによれば、2020/21年度の実量は、前月予測からの変更はなく、149.0百万トンの見込み。中国気象台の農業気象週報によれば、二期作早稲は江西、湖南等地域で出穂から開花期、一部は成熟期に入っている。全国の二期作早稲の一、二類の苗の割合は18%と82%で、前年同期比で一類は4ポイント増加、二類は4ポイント減少。二期作晩稲は、江西、湖南等地域で播種、出穂期となり、一期作稲は東北地域で分けつ期を迎えている。全国の一期作稲の一、二類の苗の割合は29%、68%で、前年同期比で一類は4ポイント増加、二類は4ポイント減少。中国国家糧油情報センター（2020.7.3）によれば、2020/21年度の実量（粳）は211百万トンの見込み。

なお、7月の長江流域の豪雨、洪水による被害が懸念されている。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸量、輸入量は、前月からの変更はなく、それぞれ、対前年度14.8%増の3.1百万トン、同8.3%減の2.2百万トンの見込み。中国農業農村部の「農産品供需形勢分析月報」（6月）によれば、6月の早期インディカ、晩期インディカ、一期作ジャポニカ米の卸売価格(精米)は、それぞれ3,680元/トン(5月は3,780元/トン)、4,140元/トン(同4,160元/トン)、4,340元/トン(同4,320元/トン)。コメの新規需要が低迷し、価格は落ち着いた動きを見せている。

コメー米国

主に中・短粒はカリフォルニア、長粒はミシシッピ川沿いで栽培
カリフォルニア州の全米のコメ生産に占める生産シェアは約2割

(単位:百万精米トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	7.1	5.9	7.0	0.1	19.6
消費量	4.6	4.4	4.6	0.1	2.9
輸 出 量	3.0	3.0	3.1	▲ 0.0	3.7
輸 入 量	0.9	1.1	1.1	0.0	-
期末在庫量	1.4	1.0	1.4	0.0	46.3
期末在庫率	18.8%	12.8%	18.1%	▲ 0.1	5.3

(参考)

収穫面積(百万ha)	1.18	1.00	1.16	0.02	16.0
単収(もみt/ha)	8.62	8.38	8.62	▲ 0.01	2.9

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(10 July 2020)

コメー中国

北部で一期作、南部で二期作。ジャポニカ(粳)米は東北地区、江蘇省
等で栽培、生産シェアは3割程度

(単位:百万精米トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	148.5	146.7	149.0 (148.0)	-	1.5
消費量	142.9	144.9	147.1 (146.0)	-	1.5
輸 出 量	2.8	2.7	3.1 (3.4)	-	14.8
輸 入 量	3.2	2.4	2.2 (2.3)	-	▲ 8.3
期末在庫量	115.0	116.5	117.5 (113.1)	-	0.9
期末在庫率	78.9%	78.9%	78.2% (75.7%)	-	▲ 0.7

(参考)

収穫面積(百万ha)	30.19	29.69	30.20 (30.00)	-	1.7
単収(もみt/ha)	7.03	7.06	7.05 (4.93)	-	▲ 0.1

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(10 July 2020)
IGC 「Grain Market Report (25 June 2020)」 (単収は精米t/ha)

※ 一類苗: 生育が正常な苗 二類苗: 通常の苗よりやや小さい苗
三類苗: 病気の苗、弱い苗

< タイ >

【生育・生産動向】USDAによれば、2020/21年度(2021年1月～2021年12月)の生産量は前月予測からの変更はなく、20.4百万トンの見込み。6月上旬まで南部の一部地域を除き厳しい乾燥状態であったが、2020年6月14日～20日の間にモンスーンによる降雨がタイ全土にあり、播種が進んだ。6月下旬現在、タイ北東部では雨季作の播種が進み活着期を迎えている。

また、2019/20年度(2020年1月～2020年12月)の生産量は、前月予測からの変更はなく18.0百万トンの見込み。タイ農業・協同組合省によれば、4月24日時点の同年度の生産量は雨季作が24.9百万トン、乾季作が4.1百万トンの29.0百万トン(粳ベース)の見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、9.0百万トンの見込み。また、2019/20年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、6.9百万トンの見込み。タイ米輸出協会によれば、同年度はバーツ高や新型肺炎の影響による需要減少で輸出量が前年度より減少した。2020年1月から5月までの輸出量は、前年度から31.9%減少の257.4万トンで、輸出先国は、米国33.9万トン、南アフリカ23.1万トン、アンゴラ19.5万トンの順。国別には、米国等への輸出量が増加している。

< インド >

【生育・生産動向】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、対前年度0.1%増の118.0百万トンの見込み。例年通り6月にモンスーンが到来し雨季が始まった。インド農業省によれば、カリフ米の作付けが開始され、降雨に恵まれ、7月3日時点の作付済面積は6.8百万ヘクタールと前年同期(4.9百万ヘクタール)を38%上回った。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月予測から変わらず、対前年度8.9%増の11.0百万トンとなる見込み。インド商工省によれば、2020年1月～3月の輸出量累計は3.1百万トンで前年同期比11.3%の減少となった。

また、インド食料公社によれば、2020年6月のコメの政府備蓄量は27.4百万トンで、前年同時期を下回ったものの、4月1日時点の目標備蓄量13.6百万トンを大幅に上回った。

コメ・タイ

夏の雨季作と冬の乾季作で行われる。主にインディカを栽培

(単位:百万精米トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	20.3	18.0	20.4 (20.0)	-	13.3
消 費 量	11.5	11.5	11.8 (11.4)	-	2.6
輸 出 量	7.6	6.9	9.0 (8.5)	-	30.4
輸 入 量	0.3	0.3	0.2 (0.3)	-	▲ 20.0
期末在庫量	4.5	4.4	4.2 (4.8)	-	▲ 4.6
期末在庫率	23.8%	23.9%	20.1% (24.0%)	-	▲ 3.7

(参考)

収穫面積(百万ha)	10.83	9.96	10.90 (10.73)	-	9.4
単収(もみt/ha)	2.85	2.74	2.84 (1.86)	-	3.6

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(10 July 2020)
IGC「Grain Market Report (25 June 2020)」(単収は精米t/ha)

コメ・インド

雨季をカリフ、乾季をラビと呼ぶ。北部はカリフ・ラビ(小麦)の二毛作、南部はカリフ・ラビの二期作。主にインディカを栽培

(単位:百万精米トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	116.5	117.9	118.0 (118.9)	-	0.1
消 費 量	99.2	102.3	104.0 (105.3)	-	1.6
輸 出 量	10.4	10.1	11.0 (10.8)	-	8.9
輸 入 量	0.0	0.0	0.0 (0.0)	-	-
期末在庫量	29.5	35.0	38.0 (36.5)	-	8.6
期末在庫率	26.9%	31.1%	33.0% (31.5%)	-	1.9

(参考)

収穫面積(百万ha)	44.16	43.60	44.00 (43.88)	-	0.9
単収(もみt/ha)	3.96	4.06	4.02 (2.71)	-	▲ 1.0

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(10 July 2020)
IGC「Grain Market Report (25 June 2020)」(単収は精米t/ha)

<ベトナム>

【生育・生産動向】USDAによれば、2020/21年度(2021年1月～2021年12月)の生産量は、前月予測からの変更はなく、27.2百万トン(見込み)。また、現在生産が行われている2019/20年度(2020年1月～2020年12月)の生産予測は、前月からの変更はなく、27.4百万トンの見込み。

ベトナム気象局によれば、7月の天候は、全国的に例年より気温がやや高いものの、降水量は例年並みとなったことから、概ね順調に生育しているとみられる。

6月中旬現在の生産状況は、北部で雨季作、南部のメコンデルタで夏秋作、秋冬作が行われている。生育段階は、北部で雨季作の72.2%が幼穂分化期となり、南部で夏秋作のうち早播き稲の20.0%が収穫された。また、夏秋作は幼苗期から分けつ期を迎えている。

ベトナム農村農業開発省によれば、収穫の終了した主要作である冬春作の2019/20年度の生産予測は、19.9百万トン(粳ベース)(北部6.9百万トン、南部13.0百万トン)である。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月予測から変わらず、6.4百万トンの見込み。また、2019/20年度の輸出量は6.7百万トンの見込み。

ベトナム税関総局によれば、2019/20年度は、コメの輸出枠が撤廃された2020年5月に輸出量は95.4万トンと前年同時期を大幅に上回ったものの、6月には再び減少し45.0万トンと前年同時期の75.4%となった。

2020年1月～6月の輸出量は、352.2万トンと前年度同期(335.4万トン)を上回っている。輸出先国は、フィリピン137.6万トン(39.1%)、中国45.8万トン(13.0%)、マレーシア34.2万トン(9.7%)の順。

なお、ベトナム食糧協会によれば、ジャポニカ米(碎精米5%)の6月のFOB価格は525ドル/トン、インディカ精米(碎精米5%)は473ドル/トンであった。

コメベトナム

北部で二期作、南部で二期作、三期作。主に長粒種、一部で短粒種も栽培

(単位:百万精米トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	27.3	27.4	27.2 (28.8)	-	▲ 0.6
消費量	21.2	21.2	21.2 (22.6)	-	-
輸出量	6.6	6.7	6.4 (6.5)	-	▲ 4.5
輸入量	0.5	0.4	0.4 (0.4)	-	-
期末在庫量	1.1	1.0	1.0 (2.8)	-	-
期末在庫率	4.0%	3.5%	3.5% (9.7%)	-	0.0

(参考)

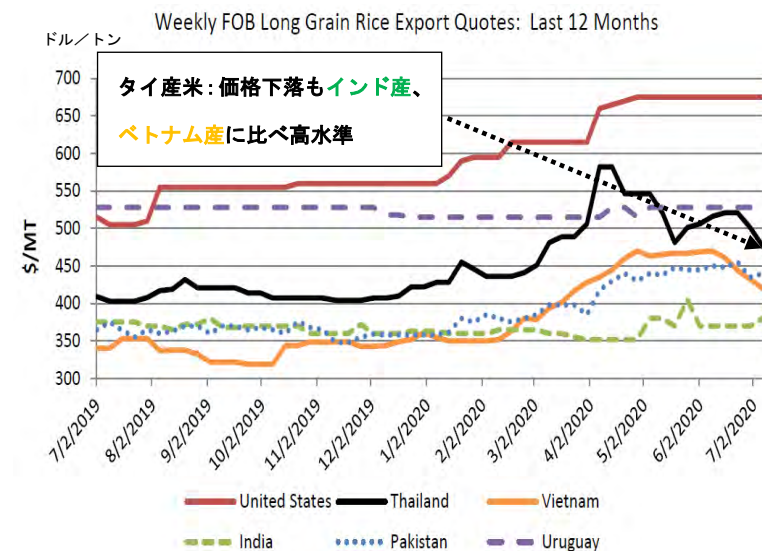
収穫面積(百万ha)	7.54	7.51	7.50 (7.48)	-	▲ 0.1
単収(もみt/ha)	5.80	5.83	5.80 (3.85)	-	▲ 0.5

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、

「World Agricultural Production」(10 July 2020)

IGC 「Grain Market Report (25 June 2020)」 (単収は精米t/ha)

図: 主要コメ輸出国の輸出価格(長粒種)



出典: 米国農務省「Grain: World Markets and Trade」(2020.7.10)

Ⅱ 油糧種子 大豆

(1) 国際的な大豆需給の概要（詳細は右表を参照）

<米国農務省（USDA）の見通し> 2020/21 年度

生産量 前年度比 ↑ 前月比 ↓

・米国で上方修正も、カナダ等で下方修正され、前月から下方修正された。史上最高の見込み。

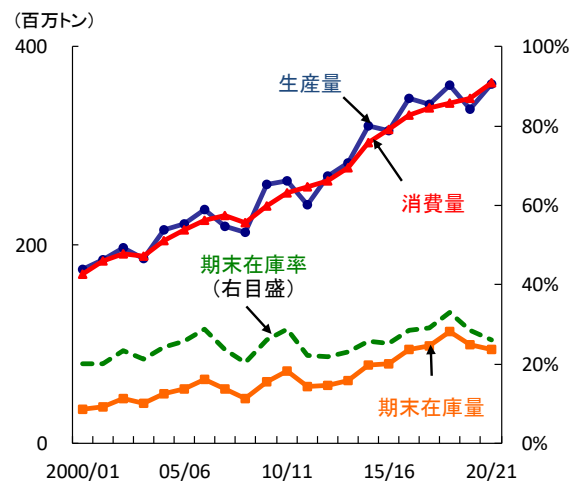
消費量 前年度比 ↑ 前月比 ↑

・中国、米国等で上方修正され、前月から上方修正された。史上最高の見込み。

輸出量 前年度比 ↑ 前月比 ↓

・ウルグアイ、カナダ等で下方修正され、前月から下方修正された。史上最高の見込み。

期末在庫量 前年度比 ↓ 前月比 ↓



資料：USDA「PS&D」（2020.7.10）をもとに農林水産省で作成。

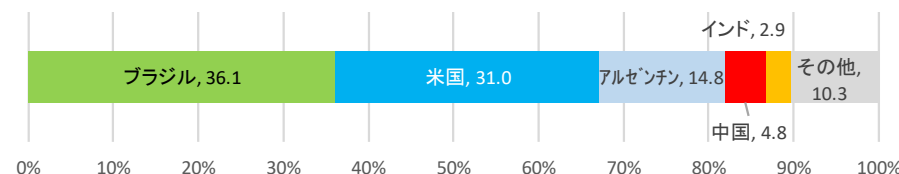
◎ 世界の大豆需給

(単位：百万トン)

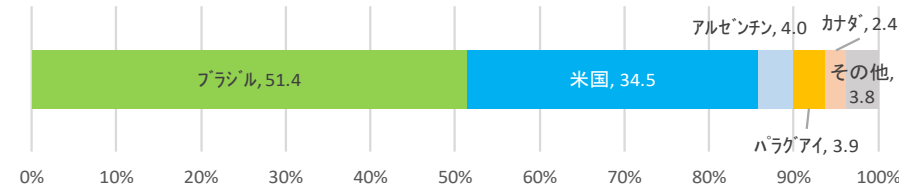
年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測からの 変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	360.6	337.1	362.5	▲ 0.3	7.5
消 費 量	342.6	348.4	363.6	1.8	4.3
うち搾油用	297.3	304.2	315.6	1.9	3.8
輸 出 量	148.4	159.4	161.6	▲ 0.4	1.4
輸 入 量	144.6	157.6	158.0	-	0.3
期末在庫量	112.7	99.7	95.1	▲ 1.3	▲ 4.6
期末在庫率	32.9%	28.6%	26.2%	▲ 0.5	▲ 2.5

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」（10 July 2020）

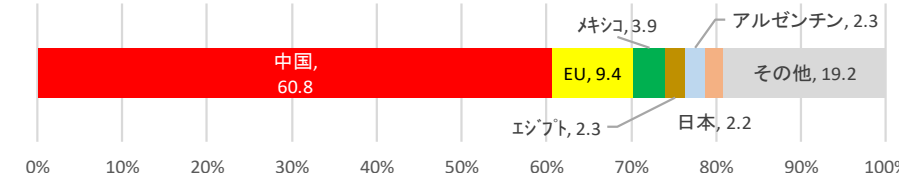
○ 2020/21 年度の世界の大豆の生産量 (362.5 百万トン) (単位：%)



○ 2020/21 年度の世界の大豆の輸出量 (161.6 百万トン)



○ 2020/21 年度の世界の大豆の輸入量 (158.0 百万トン)



(2) 国別の大豆の需給動向

< 米国 >

【生育・生産状況】米国農務省（USDA）によれば、2020/21 年度の生産量は、「作付面積調査」（2020.6.30）による収穫面積の上方修正に伴い、前月予測から 0.3 百万トン上方修正され、前年度より 16.4%増の 112.5 百万トンの見込み。「Crop Progress」（2020.7.20）によると、天候におおむね恵まれたことから 7 月 19 日現在で主要 18 州における開花進捗率は 64%と、前年度同期（35%）及び過去 5 年平均（57%）より進んでいる。着莢進捗率は 25%と、前年度同期（6%）及び過去 5 年平均（21%）より進んでいる。作柄評価は、良からやや良が 69%と前年度同期（54%）を上回っている。

【需要動向】USDA によれば、2020/21 年度の消費量は、畜産向けの大豆需要が回復基調であることを見込み、前月から 0.4 百万トン上方修正され、前年度より 4.0%増の 62.5 百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】2020/21 年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、中国向け輸出の大幅な増加等から前年度より 24.2%増の 55.8 百万トンの見込み。輸出検証高（2020 年 1 月 2 日～7 月 2 日）は、15.7 百万トンであり、内訳は中国（3.7 百万トン）、エジプト（2.2 百万トン）の順である。

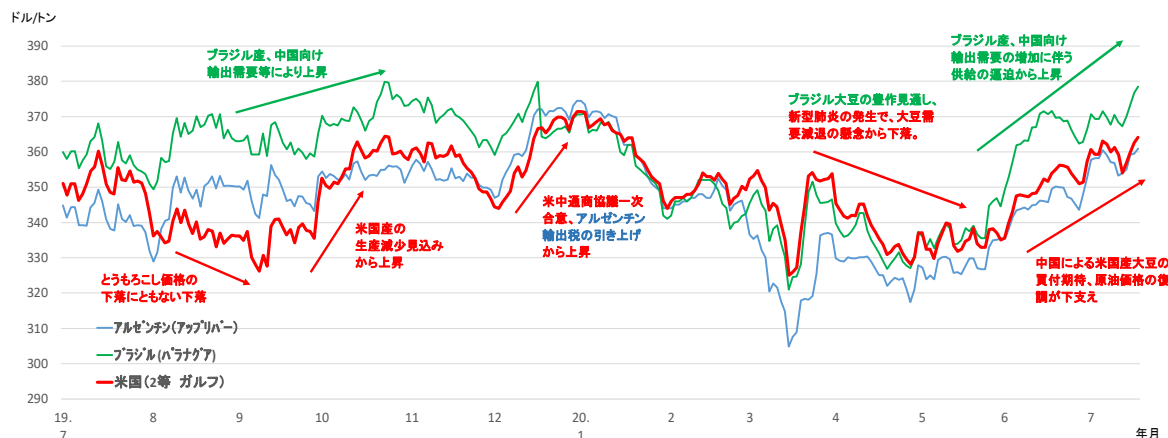
大豆－米国

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	120.5	96.7	112.5	0.3	16.4
消 費 量	60.4	60.1	62.5	0.4	4.0
うち搾油用	56.9	58.7	58.8	0.4	0.2
輸 出 量	47.7	44.9	55.8	-	24.2
輸 入 量	0.4	0.4	0.4	-	-
期末在庫量	24.7	16.9	11.6	0.8	▲ 31.5
期末在庫率	22.9%	16.1%	9.8%	0.6	▲ 6.3
(参考)					
収穫面積(百万ha)	35.45	30.33	33.60	0.09	10.8
単収(t/ha)	3.40	3.19	3.35	-	5.0

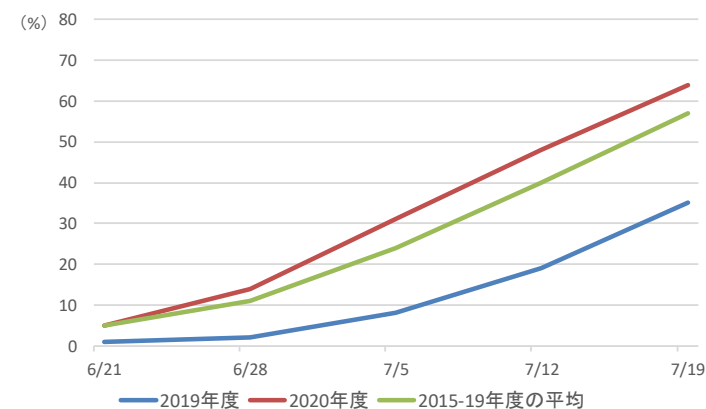
資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」(10 July 2020)

図：米国、ブラジル、アルゼンチン大豆輸出価格（FOB）の推移



資料: IGC のデータをもとに農林水産省にて作成

図：主要 18 州における開花進捗率の推移



資料: USDA「Crop Progress」

< ブラジル >

【生育・生産状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、収穫面積の増加から前年度より4.0%増の131.0百万トンとなり、史上最高の見込み。

9月以降に作付けが開始される。なお、2019/20年度の収穫は、終了している。

【需給状況】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、前月予測からの変更はなく、前年度より1.6%増の47.7百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、期首在庫の減少による供給量の制約から前年度より6.7%減の83.0百万トンの見込み。ただし、世界の大豆輸出量の約半分を占め、世界第1位の輸出国を維持する見込み。

ブラジル貿易統計によれば、3月以降中国向け輸出が急増しており、2020年1～6月の輸出量は60.3百万トンで、前年同期比1.4倍となり、この時期としては史上最大となっている。内訳は、1位が中国で43.4百万トンと全体の72%を占めている。

大豆—ブラジル

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	119.0	126.0	131.0 (130.7)	-	4.0
消 費 量	44.9	46.9	47.7 (…)	-	1.6
うち搾油用	42.5	44.3	45.0 (…)	-	1.7
輸 出 量	74.6	89.0	83.0 (…)	-	▲ 6.7
輸 入 量	0.1	0.3	0.2 (…)	-	▲ 40.0
期末在庫量	32.4	22.8	23.3 (…)	▲ 2.1	2.2
期末在庫率	27.1%	16.8%	17.8% (…)	▲ 1.6	1.1

(参考)

収穫面積(百万ha)	35.90	36.90	38.30 (39.70)	-	3.8
単収(t/ha)	3.31	3.41	3.42 (3.29)	-	0.3

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(10 July 2020)
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(17 July 2020)

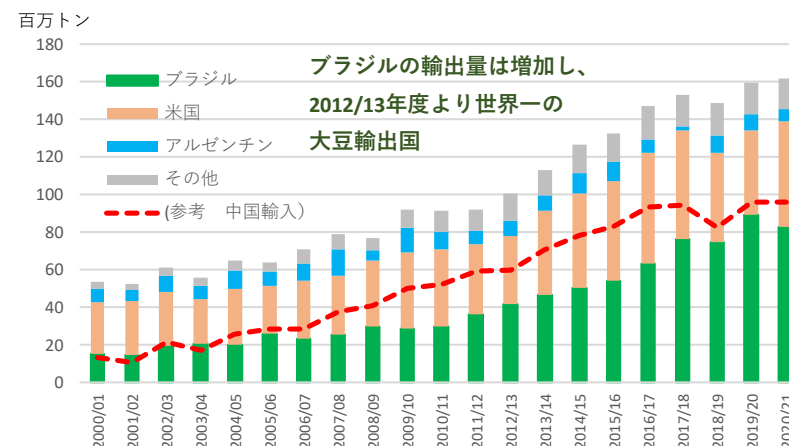
ブラジルのクロップカレンダー(中部から南部)

2019/20年度の大豆の収穫は2月以降収穫が行われ、その後、一部圃場で冬とうもろこしを栽培。

2019/20年度	2019年												2020年								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
夏とうもろこし																					
冬とうもろこし																					
大豆																					

資料: Conab穀物レポート(2020.7.8)

図: 世界の大豆輸出国の輸出量の推移



資料: 米国農務省「PS&D」(2020.7.10)のデータをもとに農林水産省にて作成。

< アルゼンチン >

【生育・生産状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、前年度より7.0%増の53.5百万トンの見込み。11月以降に作付けが開始される。

なお、2019/20年度の収穫は終了している。

【需給状況】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、前月予測からの変更はなく、搾油用需要の増加に伴い前年度より4.8%増の50.2百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、国内の搾油量の増加に加え、中国向け輸出における米国、ブラジルとの競争もあり、前年度より27.8%減の6.5百万トンの見込み。

アルゼンチン国家統計局によれば、4月以降中国向け輸出が急増しており、2020年1～5月の輸出量は2.9百万トンで、前年同期より21%増。内訳は、1位が中国2.4百万トン、2位がエジプト24万トンとなっている。

アルゼンチンは、バイオディーゼル用大豆の搾油を行うため、大豆輸出量よりも、搾油後に発生する大豆加工品の輸出が多く、大豆粕については、世界第1位の輸出国である。

アルゼンチン政府は、財政赤字の補填等のため、2019年12月から2020年3月にかけて、2段階で、大豆、大豆油、大豆粕の輸出税を約25%から30%、さらに最大33%へ引き上げた。なお、生産規模ごとに税率が20～33%と細分化され、年間1,000トンを超える生産者は33%課税されることとなった。

また、アルゼンチン政府は6月8日に2月に破産した大手搾油企業ビセンティンの国有化を含む救済措置を発表した。

大豆－アルゼンチン

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21			
			予測値、()はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生 産 量	55.3	50.0	53.5 (51.5)	-	7.0	
消 費 量	47.5	47.9	50.2 (…)	-	4.8	
うち搾油用	40.6	40.8	43.0 (…)	-	5.4	
輸 出 量	9.1	9.0	6.5 (…)	-	▲ 27.8	
輸 入 量	6.4	4.0	3.6 (…)	-	▲ 10.0	
期末在庫量	28.9	26.0	26.4 (…)	0.4	1.5	
期末在庫率	51.1%	45.7%	46.6% (…)	0.0	0.9	
(参考)						
収穫面積(百万ha)	16.60	17.00	17.30 (16.40)	-	1.8	
単収(t/ha)	3.33	2.94	3.09 (3.14)	-	5.1	

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

「World Agricultural Production」(10 July 2020)

OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(17 July 2020)

写真：北部サンタフェ州の大豆保管サイロ

(7月24日撮影)

奥に見える保管サイロの不足を補うため、手前の
プラスチック製サイロバッグを活用。

7月から年末にかけて順次港湾ターミナルへ輸送。



< 中国 >

【生産・生育状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、前年度より3.3%減の17.5百万トンの見込み。なお、中国糧油情報センター（2020.7.3）によれば、6月末に東北地区では出苗～三葉期に入り、江蘇省等では着莢期に入っている。6月の天候に恵まれ、生育はおおむね順調である。

【需給動向】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、ASFの甚大な影響から回復し、養豚数の増加により大豆粕需要が高まることから前月予測から1.5百万トン上方修正され、前年度より6.8%増の113.4百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸入量は、前月予測からの変更はなく、養豚数の回復から旺盛な飼料用需要・搾油需要により前年度と同じ96.0百万トンの見込み。

中国財政部は、2月14日に、米中通商協議一次合意に伴い、米国産大豆の追加関税30%のうち、2019年9月追加分の5%分を半減させ、追加関税を27.5%まで引き下げた。さらに、財政部は、2月18日、1年間の期限付きで、輸入業者に対して、米国産大豆を始め豚肉、牛肉等の米国産品に関し、追加関税の免除手続きを公表した。

中国の貿易統計によれば、2020年1～5月の輸入量は33.9百万トンと、前年同期比で6.7%増。内訳は、ブラジル産22.0百万トン（65%）、米国産9.0百万トン（26%）。なお、5月の輸入量は、4月に続き、ブラジル産（8.9百万トン）が米国産（0.5百万トン）をさらに大きく引き離れた。7月以降は、ブラジルの輸出可能量の減少により、輸入先が徐々に米国産に切り替わるとみられる。

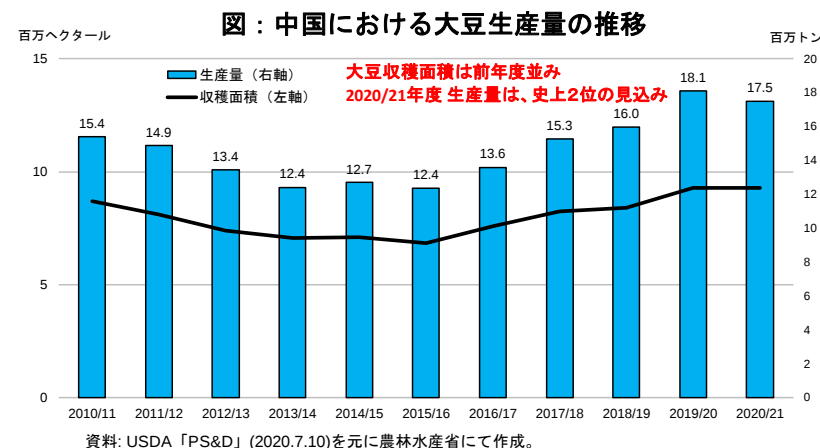
農業農村部「農産品供需形勢分析月報6月号」によると、6月、農家の国内大豆在庫は底をつき、出荷もほぼ終了した。6月の国内価格はやや下落したものの、依然として高値を維持した。

大豆－中国

（単位：百万トン）

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、OはOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	16.0	18.1	17.5 (17.2)	-	▲ 3.3
消 費 量	102.0	106.2	113.4 (113.0)	1.5	6.8
うち搾油用	85.0	88.5	95.0 (96.5)	1.5	7.3
輸 出 量	0.1	0.1	0.1 (0.2)	-	▲ 9.1
輸 入 量	82.5	96.0	96.0 (96.0)	-	-
期末在庫量	19.5	27.3	27.3 (16.8)	▲ 0.5	-
期末在庫率	19.1%	25.6%	24.0% (14.9%)	▲ 0.8	▲ 1.6
(参考)					
収穫面積(百万ha)	8.41	9.30	9.30 (9.10)	-	-
単収(t/ha)	1.90	1.95	1.88 (1.89)	-	▲ 3.6

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(10 July 2020)
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(17 July 2020)



< カナダ >

【生育・生産状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、収穫面積の下方修正に伴い前月から0.4百万トン下方修正され、前年度より3.3%減の5.8百万トンの見込み。

なお、カナダ統計局「Principal field crop areas」(2020.6.29)によれば、2020/21年度の作付面積は、世界的に油糧種子の在庫が多く、生産者の油糧種子生産への意欲が低下しているため、前年度より11.3%減の2.05百万ヘクタールの見込み。産地のオンタリオ州やマニトバ州ではおおむね天候に恵まれ、順調に生育している。

【需給状況】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、前月から0.1百万トン下方修正され、前年度と同じ2.5百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、生産量の下方修正に伴い前月から0.2百万トン下方修正され、前年度より9.4%減の3.9百万トンの見込み。

大豆－カナダ

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はAAFC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	7.3	6.0	5.8 (5.9)	▲ 0.4	▲ 3.3
消 費 量	3.1	2.5	2.5 (2.4)	▲ 0.1	-
うち搾油用	2.1	1.8	1.8 (1.9)	▲ 0.1	-
輸 出 量	5.3	4.3	3.9 (4.1)	▲ 0.2	▲ 9.4
輸 入 量	1.2	0.5	0.6 (0.5)	-	22.2
期末在庫量	0.7	0.4	0.4 (0.3)	▲ 0.1	-
期末在庫率	8.4%	5.9%	6.3% (4.1%)	▲ 1.3	0.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	2.54	2.30	2.04 (2.05)	▲ 0.13	▲ 11.3
単収(t/ha)	2.86	2.61	2.84 (2.90)	0.01	8.8

資料: USDA「PS&D」

「World Agricultural Production」(10 July 2020)

AAFC「Outlook for Principal Field Crops」(17 July 2020)

(参考)本レポートに使用されている各国の穀物年度について (2020/21年度)

	小麦	とうもろこし	コメ	大豆
米国	20年6月～21年5月	20年9月～21年8月	20年8月～21年7月	20年9月～21年8月
カナダ	20年8月～21年7月			20年8月～21年7月
豪州	20年10月～21年9月		21年3月～22年2月	
EU	20年7月～21年6月	20年10月～21年9月		
中国	20年7月～21年6月	20年10月～21年9月	20年7月～21年6月	20年10月～21年9月
ロシア	20年7月～21年6月	20年10月～21年9月		20年9月～21年8月
ブラジル		21年3月～22年2月	21年4月～22年3月	20年10月～21年9月
アルゼンチン	20年12月～21年11月	21年3月～22年2月		20年10月～21年9月
タイ			21年1月～12月	
インド	20年4月～21年3月		20年10月～21年9月	
ベトナム			21年1月～12月	

注 市場年度は、おおむね各国で作物が収穫される時期を期首として各国ごとに設定されているため、国、作物によって年度の開始月は異なります。

例えば、2020/21年度は、米国の小麦では2020年6月～2021年5月、ブラジルのとうもろこしでは2021年3月～2022年2月です。

なお、各国別、作物別の市場年度は、米国農務省によります。

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/downloads> (「Reference Data」タブを参照)

【利用上の注意】

海外食料需給レポートは、在外公館からの情報、農林水産省が独自に各国の現地コンサルタント等を通じて入手した情報、公的機関（各国政府機関、FAO、IGC等）の公表資料、Oil World 等民間の調査会社から購入した資料、その他、商社情報や新聞情報等から入手した情報を農林水産省の担当者において検証、整理、分析したものです。

- **海外食料需給レポートで使用している統計数値は、主に米国農務省が 2020 年 7 月下旬までに発表した情報を引用しています。**

さらに詳細なデータ等が必要な場合は、米国農務省のホームページを参照願います。

http://www.usda.gov/wps/portal/usda/usdahome?navid=AGENCY_REPORTS

主な参考資料

「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

<http://www.usda.gov/oce/commodity/wasde/>

「Grain : World Markets and Trade」

<https://www.fas.usda.gov/data/grain-world-markets-and-trade>

「Oilseeds : World Markets and Trade」

<https://www.fas.usda.gov/data/oilseeds-world-markets-and-trade>

「World Agricultural Production」

<https://www.fas.usda.gov/data/world-agricultural-production>

「PS&D」

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/advQuery>

など

- **データは予測値であり、毎月各種データの更新を受けて改訂されますので留意してください。**
- 資料原典で表示されるブッシェル及びエーカー等の単位は、それぞれトン及びヘクタールに換算して記載しています。
- 資料原典において現地通貨で表示される金額を円換算するにあたっては、日本銀行国際局・財務大臣公示の基準外国為替相場及び裁定外国為替相場等の換算レートを用いています。
- 市場年度は、おおむね各国で作物が収穫される時期を期首として各国ごとに設定されているため、国、作物によって年度の開始月は異なります。
なお、各国別、作物別の市場年度は、米国農務省によります。

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/downloads>

(注：同サイトの「Reference Data」を参照)

- 期末在庫率の対前年度増減率の欄は、前年度とのポイント差。なお、表示単位以下の数値により計算しているため、表上では合わない場合があります。
- 本資料の引用等につきましては、出所（農林水産省発行「海外食料需給レポート」）を併記願います。
- 本文中の略称については以下のとおりです。

FAO	国連食糧農業機関
IGC	国際穀物理事会
USDA	米国農務省
AAFC	カナダ農務農産食品省
ABARES	豪州農業資源経済科学局
CONAB	ブラジル食料供給公社
JAXA	宇宙航空研究開発機構

なお、生産見通し等の予測は、各国国際機関及び各国の農業機関によりそれぞれの分析手法に基づき行われるため、機関によってデータの相違がある場合があります。また、各国の農業機関の公表を受けて、国際機関の見通しが改訂される場合があります。

英国については、2020年1月31日付けでEUを離脱しました。英国の小麦に関する情報についてはEUの小麦のコーナーで取り扱います。

- 本レポートの電子版は下記アドレスでご覧になれます。

農林水産省 海外食料需給レポート

http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j_rep/index.html

- 本資料に関するご質問、ご意見等は、下記までお願いします。

連絡先	農林水産省大臣官房政策課食料安全保障室 TEL：03-6744-2368（直通）
------------	---